

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>なごやだいさんかんじょうせん</small> 名古屋第3環状線					
事業箇所	弥富市前ヶ須町					
事業のあらまし	<p>(都)名古屋第3環状線は、愛西市を起点として津島市を經由し、弥富市に至る延長約19.6kmの主要幹線道路であり、国道1号や国道23号、伊勢湾岸道路と接続し、尾張西部地域と名古屋港の物流エリアを結び、円滑な交通を確保する上で重要な路線である。また、第一次緊急輸送道路として位置づけられる予定であり、防災上重要な路線でもある。</p> <p>このうち、弥富市中心市街地である当該事業区間の周辺では、特に通勤・通学時において渋滞が慢性的に発生しており、円滑な交通や交通安全の確保などが課題となっている。</p> <p>このため、「交通円滑化」、「交通安全対策の強化」、「緊急輸送道路の整備」を主な目的として、バイパス整備を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化 ②交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>③緊急輸送道路機能の強化</p>					
事業費	事業費	内訳				
	11億円	■工事4億円、■用補費6億円、■その他1億円				
事業期間	採択予定年度	平成30年度	着工予定年度	平成30年度	完成予定年度	平成36年度
事業内容	バイパス整備（延長：L=0.5km、車線数：4車線、幅員：W=23.0m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>①交通円滑化、②交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間北側の供用済区間の交通量は12,984台/12h、混雑度1.17（H22道路交通センサス結果）となっている。特に通勤・通学時において渋滞が発生しており、生活道路に通過交通が流入していることから、当該事業区間の整備による円滑な交通の確保や歩行者と自動車の分離が求められている。 <p>③緊急輸送道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に位置づけられる予定であり、大規模災害時等に円滑な救援・復旧活動を行うため、主要施設等へのアクセス性を高める必要がある。 <p>・費用便益分析マニュアル（H20.11国土交通省道路局）に基づき算定したB/Cは1.2で1.0を超えているため、事業の必要性は高い</p>				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な交通の確保や交通安全の確保、防災機能の向上のために事業実施の必要がある。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">8.0</td> <td colspan="3">3.0</td> </tr> </tbody> </table>									H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	工 種 区 分	調査・設計	←→							用地補償	←→							工事				←→				事業費（億円）		8.0				3.0		
			H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																																										
	工 種 区 分	調査・設計	←→																																																
用地補償		←→																																																	
工事					←→																																														
事業費（億円）		8.0				3.0																																													
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備の要望を受けている。 ・地元住民に対し事業説明会を開催し、合意形成を図っている。 																																																		
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																	
	【理由】	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。 																																																	
III 対応方針																																																			
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																			
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路における交通状況の変化（交通量、旅行速度）を定量的に評価する。 ・自転車・歩行者の通行の安全性に関する地元の満足度（アンケート）を評価する。 																																																			